

色彩から考える土木景観



藤本英子
京都市立芸術大学 教授

全国の道路で自転車環境整備が進む中、その多くが鮮やかな青色を路面表示に使用している。その青色は日本の景観にふさわしいものになっているのだろうか。筆者が専門とする景観デザインの分野は、土木分野がその多くを担っている。大自然の中に架かる橋梁、山を貫く高速道路、河川などから身近な生活道路まで、その分野も様々だ。

景観において色彩は近年新たな課題を生み出している。景観を構成する素材が、昔は地域の石や木材など自然景観と齟齬が生まれにくい色彩で構成されていたが、塗料の発達や、人工素材の普及により、自由な色彩が活用されるようになったためである。色彩には色相(色味)、明度(明るさ)、彩度(鮮やかさ)の3要素があり、すべての色をこの3つの要素で示すことができるが、それぞれの要素のコントロールによって、そのものを景観の中でなじませることも、目立たせることも自由自在に操ることができる。そして、そのコントロールによって景観の質が大きく左右されるのである。残念ながら土木の分野では、そのことが把握されていない場合が多く見られるのが現状である。

土木景観の色彩について、その事例を見ていきたい。橋梁は時にはシンボルとなって美しくなる、日光の社寺入り口に架かる「神橋(しんきょう)」¹⁾のように、緑豊かな景観の中に反対色の朱色で目立つことで、美しくシンボルとなっている。逆に周辺の自然景観との類似調和を重視した明石海峡大橋は、淡く明るい黄緑色である。国立公園の基準では、自然の中で目立つ必要のない鉄塔を、背景が山となる場合は低明度のこげ茶、背景が空となる場合は高明度の灰色などに設定し、調和を図っている。道路では、防護柵の色彩についての国のガイドラインで、こげ茶からダークグレー系がふさわしいとされている²⁾。路面の色彩ではインターロッキングの流行などから、その自由な色使いが景観阻害となる場合も見られる。京都市では厳しい外壁色彩の基準を課している町家の前に、派手な色彩の路面が施行される事例があり、市では自ら「京(みやこ)のみちデザイン指針」³⁾を制定し、道路の色彩などのコントロールを行っている。電柱では地中化が無理な場合でも、景観に配慮した美化柱(こげ茶色)など色の工夫で周辺との調和を図る場合も見られる。

塗装色や工業製品では自由に色付けされたものが、景観の中でむやみに目立つ場合も多い。代表的な事例に青い水管橋や水関連の施設、鮮やかな緑のフェンス、ブルーシートなどがある。いずれもそ

の色名から来るイメージ(水色、緑)で使われていると思われるが、人工的につくられた色は自然の水や緑の色よりもはるかに鮮やかで目立つのである。高速道路などの防音壁は、景観の中で本来目立たせたくない存在であるが、そこに色のラインやイラストが描かれ、ふさわしくないと感じることも多い。遠景から山の緑を背景に見える防音壁では、目立たせないために低明度がふさわしいが、京都の山を背景とする名神高速道路の天王山トンネル西側などでも、その明度の高さが存在を高めている。

事例から見てきたが、景観法制定以降全国の自治体で色彩基準がマンセル値⁴⁾で定められていることが増えてきた、特に建築分野では設計者が意識して、その基準に合わせるなど色彩に対する意識の高まりが見られる。土木分野では景観条例の「景観重要公共施設」として、色彩基準が示されることもあるが、特殊な分野に限られ、一般的な施工では色彩について検討されることさえないのが現状である。色彩の専門性を持つ担当者が少ないために、検討内容にならない場合が多いと思われる。近年、公共施設のPDCAサイクルを視野に入れる計画も生まれているが、この中に色彩の検討も含まれることを望む。

冒頭で挙げた課題が、現在筆者が全国の担当者に伝えているテーマである。2017年5月に施行された「自転車活用推進法」⁵⁾を受けて、全国で自転車環境整備が進む中、国のガイドラインに示された表示色の「青色」を受けて、全国で鮮やかな青色のレーンが広がっている。自転車走行としての連続性や、目立つための視認性には優れるところもあるが、場所によっては景観の中であまりにも突出する色彩となり、それまで整えてきた調和ある景観に違和感を与える場合も多く見られる。いずれも地域の景観色彩の把握不足と、色彩に対する知識の不足が招いた結果である。

日本が目指す観光立国、そして何よりも、そこで生活する市民が誇れる心地よい景観とするためには、景観の中で大きな影響力を持つ土木分野での、正しい色彩知識の普及と、景観色彩の専門家の活用を望みたい。美しい日本の景観を次の世代に引き継いでいくためにも。

- 1) 日光旅ナビ「神橋」 <http://www.nikko-kankou.org/spot/21/>
- 2) 景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン <http://www.road.or.jp/event/pdf/bougosaku03guidelines.pdf>
- 3) 「京(みやこ)のみちデザインマニュアル」 <https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000135/135695/3010designmanual.pdf>
- 4) マンセル値とはマンセル・カラー・システム (<https://ja.wikipedia.org/wiki/マンセル・カラー・システム>)
によって表された色の数値である。
- 5) 「自転車活用推進法」 <https://www.mlitt.go.jp/road/bicycleuse/pdf/gaiyou.pdf>